

ポスター発表

20日・21日 講堂

発表タイム 奇数番号 20日 15:30-16:45 偶数番号 20日 16:45-18:00

レセプション 20日 16:00-18:00

	タイトル	発表者
P1	意外と身近な DNA バーコーディングデータベースの構築と利用	○染谷さやか ¹ ・齋藤武馬 ² ・岩見恭子 ¹ ・小林さやか ² ・西海功 ¹ ・浅井芝樹 ² (1:国立科学博物館、2:山階鳥類研究所)
P2	小笠原諸島に生息するアホウドリ類の遺伝解析—個体群の持続的保全に向けた現状把握—	○安藤温子・兼子伸吾(京都大院・農)・鈴木創・堀越和夫・千葉勇人(小笠原自然文化研究所)・井鷲裕司(京都大院・農)
P3	異なる海水状況に対応したアデリーペンギンの採餌行動	○永井久美・高橋晃周(総研大・極地研)・渡辺伸一(福山大)・佐藤克文(東大・海洋研)・綿貫豊(北大・水産)・M P Trathan(英国南極局)
P4	瀬戸内海におけるウミスズメ生息海域	藤井格・○藤井香織(生物群集研究所)・藤田泰宏(株式会社鳥類環境)
P5	瀬戸内海におけるカムリウミスズメの生息海域	○藤井格(生物群集研究所)・橋口大介(野生生物保全研究所)・藤井香織(生物群集研究所)
P6	知床にケイマフリの保護海域の実現に向けて	○福田佳弘(知床海鳥研究会)
P7	北海道北西部日本海におけるハシボソミズナギドリとウトウの分布と餌密度	○倉沢康大 ¹ ・本田聡 ² ・藤原周 ¹ ・綿貫豊 ¹ (1:北海道大・水産、2:北海道区水産研究所(現中央水産研究所))
P8	萬葉集に登場する古名ミヤコドリとカモメの時空間分析	○中島功・北野利彦・十蔵寺寛・桑平一郎(東海大学)
P9	マガン(<i>Anser albifrons</i>)の早朝時の行動パターンに及ぼす人の攪乱について	○佐藤舞子(酪農大大学院・酪農)・牛山克己(宮島沼水鳥・湿地センター)・赤坂猛(酪農大・環境システム)
P10	神戸西区および稲美町一帯におけるヒクイナの越冬期の生息状況	渡辺美郎・○平野敏明(NPO 法人バードリサーチ)
P11	出雲平野に渡来するガン・ハクチョウ類の採食分布の比較	○森茂晃(ホシザキグリーン財団)・星野由美子(しまね自然と環境財団)
P12	気温変化によるヒドリガモの移動	○神山和夫(NPO 法人バードリサーチ)・牧麗佳
P13	琵琶湖におけるオオバンの増加は日本の全国的な傾向か?	○橋本啓史(名城大・農)・須川恒(龍谷大)
P14	オホーツク海潟湖の潜水ガモ環境収容量	○岡奈理子(山階鳥研・東京農大)・川崎康弘(日本野鳥の会オホーツク支部)
P15	カラスにおける音声コミュニケーションの行動生態学的解析	○秋田さおり・竹内浩昭(静大・院理)
P16	大阪市におけるハシブトガラスとハシボソガラスの営巣環境比較	○向畦地貴史(大阪市立大学・理)
P17	カラス 2 種のなわばり防衛行動、特に幼鳥の成長に伴う行動変化について	○貞國利夫(北海道大・環境)・黒沢令子(バードリサーチ)・長谷川理(エコネットワーク)・東正剛(北海道大・環境)
P18	実験環境がカラスの学習能力に与える影響とハシブトガラスの記憶保持能力の検討	○菅原聡 ¹ ・津田その子 ² ・坂野克久 ² ・杉田昭栄 ¹ (1:宇都宮大・農・動物機能形態、2:中部電力・エネルギー応用技術)
P19	ハシブトガラスとハシボソガラスにおける頸筋の同定と筋重量の比較	○山田利菜 ¹ ・鎌田直樹 ^{1,2} ・杉田昭栄 ¹ (1:宇都宮大・農・動物機能形態、2:東京農工大・連合農)
P20	ハシブトガラスとハシボソガラスにおける頸筋の大きさと最大突刺力の測定	○鎌田直樹 ^{1,2} ・山田利菜 ² ・杉田昭栄 ² (1:東京農工大・連合農、2:宇都宮大・農・動物機能形態)
P21	広域一斉追い払いでみられた局所的なカワウの行動の変化	○富永光(筑波大・院・生命環境科学)・藤岡正博(筑波大・農技センター)
P22	武蔵丘陵森林公園カワウコロニーにおける対策と効果測定	○本山裕樹(バードリサーチ)

	タイトル	発表者
P23	カワウは自分のとまり場を占有しているか	○加藤ななえ(バードリサーチ)・嶋徹(千葉市野鳥の会)
P24	甲府盆地のカワウは放流アユの分布に反応できているか	○熊田那央・有馬智子(筑波大・生命環境科学)・坪井潤一・芦沢晃彦(山梨県水産技術センター)・藤岡正博(筑波大・生命環境科学)
P25	衛星追跡によるカワウの行動圏と複数ねぐらの利用と広域移動の解明	○高木憲太郎 ¹ ・福田道雄 ² ・石田朗 ³ ・齊藤成人 ⁴ ・須川恒 ⁵ ・須藤明子 ⁶ ・片岡宣彦 ⁷ ・茂田良光 ⁸ ・長谷川理 ⁹ ・有馬浩史 ¹⁰ ・齋田栄里奈 ¹¹ ・須藤一成 ⁶ ・柴野哲也 ⁶ ・加藤ななえ ¹ ・徳田裕之 ¹² (1:NPOバードリサーチ、2:東京都葛西臨海水族園、3:愛知県カワウ調査研究会、4:弥富野鳥園、5:龍谷大学、6:株)イーグレット・オフィス、7:株)鳥類環境、8:財)山階鳥類研究所、9:エコ・ネットワーク、10:神戸市立医療センター中央市民病院・免疫血液内科、11:兵庫県森林動物研究センター、12:環境省自然環境局)
P26	水田地帯における繁殖期のカワセミ(<i>Alcedo atthis</i>)のエサ利用	○立原遼・佐原雄二(弘前大学・農学生命科学部)
P27	ヨシゴイ(<i>Ixobrychus sinensis</i>)における育雛期の採餌場選択と溜池の水質変化	○西村駿平(弘前大学・院・農学生命科学)・廣瀬翔・佐原雄二(弘前大学農学生命科学部)
P28	チュウサギの採食域定着性に影響する要因	○片山直樹(東大・農)・鍋屋耕平(筑波大・共存生物)・天野達也(農環研)・宮下直(東大・農)
P29	水田地帯で採食するアマサギの分布パターンとその決定要因	○伊東圭祐・片山直樹・藤田剛・樋口広芳(東大・生物多様性)
P30	川崎市麻生区内におけるアオサギの繁殖	○白井剛(首都大・理工・動物生態)
P31	利根川下流域におけるシギ・チドリ類の生息状況	桑原和之 ¹ ・○箕輪義隆 ² ・小田島高之 ¹ ・長島充 ² (1:千葉県立中央博物館、2:千葉市野鳥の会)
P32	シギやチドリは干潟の餌が多いところに集まる?	○守屋年史(バードリサーチ)
P33	京都府亀岡市における鳥類の水田環境利用	○高橋藍子・田中裕士・渡辺陽子(京都学園大学バイオ環境学部)
P34	鳥類標識調査によるシジュウカラの渡りの様相	○佐藤理夫(市函館博)
P35	人為改変された島の植生は現在の果実食鳥類によって、どのように回復していくのか?	○栄村奈緒子(鹿児島大・院・農)・川上和人(森林総研)・出口智広(山階鳥研)・畑邦彦・曾根晃一(鹿児島大・農)
P36	喜界島における鳥の巣の捕食:営巣環境による捕食率の違いと捕食者の特定	○坂上舞(帝京科学大学・アニマルサイエンス)・濱尾章二(国立科博・自然教育園)・森貴久(帝京科学大学・アニマルサイエンス)
P37	分断化された森林地域で繁殖するアカゲラ(<i>Dendrocopos major</i>)の営巣地環境と行動圏利用の関係	○林恵理子・森さやか・藤田剛・樋口広芳(東大・生物多様性)
P38	分断化した森林地域で繁殖するアカゲラの営巣地選択と適応度成分の関係	○森さやか(東京大・農・生物多様性)
P39	果実の成熟フェノロジーは種子散布者の季節移動に対応しているかーミズキ種子の散布鳥類相の地理的な違い(予報)ー	○佐藤重穂(森林総研四国)
P40	文献調査による日本における果実食・種子食鳥の果実利用パターンの解明	○吉川徹朗・井鷲裕司(京都大・農)・菊沢喜八郎(石川県立大)
P41	水鳥の体内種子分散による運搬能力の推定	○神谷要(中海水鳥国際交流基金財団)・西野麻知子(琵琶湖環境科学研究センター)
P42	溜め池における魚食性鳥類の分布と魚類群集構造	○百瀬麦子・山谷彩子・小西あや・東信行(弘前大・農生)
P43	ニホンジカの高密度化に伴う植生の変更が鳥類群集に与える影響	○奥田圭(宇都宮大院・農)・小金澤正昭(宇都宮大・演習林)
P44	洞爺湖中島におけるエゾシカの高密度化が鳥類相の構成に与える影響	○石下亜衣紗・吉田剛司(酪農学園大学)・玉田克巳(北海道環境科学研究センター)
P45	アンケート調査に基づくシマアオジの生息環境解析	○玉田克巳(北海道環境科学研究センター)

	タイトル	発表者
P46	夕張川における草地性鳥類の繁殖状況—河川敷地で繁殖する草地性鳥類の種類と地形・植生との関連性について—	○坂元直人・渋谷裕和・関将太郎・滝沢太浩(株式会社エコテック)
P47	北海道のタンチョウにおける最近の営巣環境	○正富欣之(北大院・農学)・正富宏之(タン保研)
P48	北海道日本海側に出現し、秋田で越冬したタンチョウの由来—北海道個体群と大陸個体群との交流の可能性—	○塩見彰 ¹ ・三浦良彰 ¹ ・正富宏之 ² ・加賀谷幸男 ³ ・百瀬邦和 ² ・平賀武夫 ¹ ・寺岡宏樹 ^{1,2} (1:酪農学園大学、2:NPO タンチョウ保護研究グループ、3:国指定大湯草原鳥獣保護区)
P49	飼育環境下で確認されたナベヅルの換羽について	○増山雄士(周南市教育委員会、北大院・文学)
P50	タンチョウとナベヅルの骨格系、おもに脊柱の観察	○西川紗矢佳 ¹ ・宗内一平 ¹ ・安田宣紘 ² ・正富宏之 ³ ・寺岡宏樹 ^{1,3} ・平賀武夫 ¹ (1:酪農学園大学・獣医学教室、2:鹿児島大学・獣医病理学教室、3:NPO タンチョウ保護研究グループ)
P51	タンチョウと人との関係史—北海道における事例を中心に—	○久井貴世 ¹ ・赤坂猛 ² (1:北大院・文学、2:酪農学園大学)
P52	生みの親 vs 育ての親—アカゲラ巢内雛に給餌したシジュウカラ—	○畑隆弘
P53	ヨタカの抱卵行動	○内田博(比企野生生物研究所)
P54	アカメテリカッコウによる梓にはまらない托卵戦略とそれに対抗する宿主	○徳江紀穂子(立教大)・佐藤望(立教大)・R Noske(Charles Darwin University)・上田恵介(立教大)
P55	ヤブサメがおこなう夜型さえずりの特徴	○上沖正欣・上田恵介(立教大院・動物生態)
P56	クマガラのプレイバックに対する反応の季節変化	○雲野明(北海道立林業試験場)
P57	コアジサシの営巣場所選択:白色の基質を好むか?	○佐々木太毅(明大・農・応用植物生態)・清水真理子(東邦大・理・生物)・北村亘(東大農生物多様性)・増田直也(NPO リトルターン・プロジェクト)・瀧本岳(東邦大・理・生物)・倉本宣(明大・農・応用植物生態)
P58	ツバメの巣場所選択に対する捕食回避と食物の相対的重要性	○内山康彦・藤田剛・北村亘・樋口広芳(東大・農・生物多様性)
P59	絶滅危惧種ノグチゲラの個体群動態パラメータ	○小高信彦(森林総研九州)・渡久地豊(工房リュウキュウロビン)・米田重玄・尾崎清明(山階鳥研)・金城道男(NPO どうぶつたちの病院)・嵩原建二(美咲養護学校)・倉持有希・福地壮太(環境省やんばる野生生物保護センター)
P60	亜種ダイトウコノハズクの環境選択と個体の質・なわばりの質が繁殖成績と生存に与える影響	○赤谷加奈・松尾太郎・高木昌興(大阪市大・院理・動物機能生態)
P61	九州中央山地における繁殖期のコマドリの分布	○関伸一(森林総研・九州)・坂梨仁彦(熊本県立博物館プロジェクト班)
P62	モズの営巣場所の特徴と繁殖成功の関係	○遠藤幸子(東邦大・理・生物)
P63	千曲川中流域で繁殖するモズの個体の定着性と営巣環境	○笠原里恵 ¹ ・今西貞夫 ² ・加藤和弘 ¹ (1:東大・農院・緑地植物実験所、2:東京都国分寺市)
P64	亜高山森林帯において地上営巣する鳥類の巣への捕食圧	○森本元(立教大・理)・田中啓太(理研 BSI/学振)・佐久間文男・矢野晴隆((株)元)・上田恵介(立教大・理)
P65	鹿児島県内のウチャマセンチュウの生息状況	○溝口文男(日本野鳥の会鹿児島支部)宮崎泰子(鹿児島県環境技術協会)
P66	ヒヨドリの秋季の渡り—5年間の調査で見えてきたもの—	○山口恭弘(中央農研・鳥獣害研)
P67	目録編集物語 第1話「編集、はじまる」	柳澤紀夫・○池長裕史・川上和人・西海功・平岡考・山崎剛史・綿貫豊(鳥類目録編集委員会)
P68	伊達鳥類コレクションの再整理について	○星野由美子(島根県立三瓶自然館)
P69	日本に伝えられた鳥類標本の製作技法—CT技術を用いたブラキストン標本の解析—	○岩見恭子(国立科学博物館)・加藤克(北大植物園・博物館)
P70	博物館資料としての有害鳥獣駆除個体の活用	○加藤ゆき(神奈川県博)

	タイトル	発表者
P71	電波を利用する鳥類の生態観察装置の問題点と開発進展の報告	○時田賢一(鳥の博物館、NECoRA)・矢澤正人(数理設計研究所、NECoRA)・玉置晴朗(数理設計研究所、NECoRA)・樋口広芳(東大・農、NECoRA)
P72	鳥の羽の走査型電子顕微鏡による観察—いわゆるシャイニー・パッチの見られる羽の構造—	○小木曾チエ・蛭薙観順 ¹ (1:名古屋大学博物館)
P73	日本産外来鳥類に内部寄生する原虫と蠕虫—結果概要と病理/生態学的インパクト	○吉野智生 ¹ ・遠藤大二 ¹ ・長雄— ² ・浅川満彦 ¹ (1:酪農学園大学獣医学部、2:北海道環境科学研究センター)
P74	オオタカの巣内で繁殖するアカマダラハナムグリ	○常永秀晃 ¹ ・四ツ車実記 ² ・山本晃治 ³ ・阿部學 ¹ (1:ラプタージャパン、2:日大・生物資源(現JAさがみ)、3:山本林業)
P75	絶滅危惧種鳥類コウノトリのウモウダニ相	○黒木知美(宮城県)・三橋陽子(兵庫県立コウノトリの郷公園)
P76	モズの糞に含まれる線虫卵の定量的検出	○村上茜・松井晋・高木昌興(大阪市大・院理・動物機能生態)
P77	クマタカ/オオタカ巣立ち幼鳥の移動・分散	○阿部學・常永秀晃(ラプタージャパン:日本猛禽類研究機構)・林聖元(パスコ)
P78	仏沼の繁殖期チュウヒにおける採餌環境としてのヨシ原と農地の利用率の違い	○境瑞紀・多田英行(北里大・獣医)・姥名純一(NPO おおせつからんど)・高橋雅雄(立教大・動物生態)・浦達也(日本野鳥の会自然保護室)
P79	北海道北西部におけるクマタカの生態基礎情報	○酒井智丈・池田和彦((有)エデュエンス・フィールド・プロダクション)
P80	ビデオ映像解析によるイヌワシの抱卵期および育雛期の行動特性	○福原るみ(岩手県立大学・総合政策)・前田琢(岩手県環境保健研究センター)・由井正敏(東北鳥類研究所)
P81	日本ワシタカ研究センターにおける傷病猛禽類の保護状況	○中島京也・中島知也(日本ワシタカ研究センター)・山北久美子・松原勝久(グリーン動物病院)・中島欣也(日本ワシタカ研究センター)
P82	市街地に営巣したトラフズク <i>Asio otus</i> の、繁殖期の採餌物	○岩本二郎(長岡市立科学博物館)
P83	北海道十勝平野におけるオオタカとハイタカの繁殖密度および巣間距離	○平井克玄 ^{1,2} ・柳川久 ¹ (1:帯畜大・野生動物、2:岩手大・連合農学)
P84	愛知県豊田市におけるサシバの保全活動と給餌内容調査	○大畑孝二(日本野鳥の会サシバチュアリ室)・橋本啓史・高橋妹花・新妻靖章(名城大・農)・吉田嗣郎(ネイチャーシネプロ)
P85	栃木県東部におけるサシバの繁殖成功率の低下とその要因(予報)	○野中純・堀江玲子・長野大輔・遠藤孝一(NPO オオタカ保護基金)
P86	サシバの渡り衛星追跡—年によって異なる渡り経路—	○土方直哉(東大・農・生物多様性)・時田賢一(我孫子市鳥博)、内田聖(里山自然史研)・東淳樹(岩手大・農)・山口典之・平岡恵美子・樋口広芳(東大・農・生物多様性)
P87	なぜバードストライクはオジロワシばかり? —オジロワシとオオワシの分布特性、飛行特性の比較—	○植田睦之 ¹ ・福田佳弘 ² ・守屋年史 ¹ ・中川元 ³ (1:バードリサーチ、2:知床海鳥研究会、3:知床博物館)
P88	利根川下流域におけるチュウヒの繁殖状況および越冬状況	小栗幸雄・小野正人(国土交通省関東地方整備局利根川下流河川事務所)・○紀國聡・渡邊敬史・井上創((株)建設技術研究所)・池野進(日本野鳥の会茨城支部)
P89	岩手県におけるサシバのパーチ選択に影響する景観要素	○河村詞朗 ¹ ・東淳樹 ² ・糸川拓真 ¹ ・大島和峰 ³ ・金子絵理 ¹ ・河端有里子 ¹ ・津田健伍 ⁴ (1:岩大院・農、2:岩大・農、3:元岩大院・農、4:元岩大・農)
P90	岩手県における育雛期サシバの食物動物とその季節的消長との関係性	○河端有里子(岩手大・院・農)・大島和峰(元岩手大・院・農)・東淳樹(岩手大・農)
P91	岩手県における育雛期サシバ(<i>Butastur indicus</i>)の給餌栄養量の推定	○糸川拓真・河端有里子(岩手大・院・農)・東淳樹・出口善隆(岩手大・農)